

初桜酒造

紀の川にほど近い、歴史ある酒蔵を擁するこの建物は登録有形文化財です。

酒を造るためのきれいな水を供給する和泉山の湧水泉と爽やかで寒い冬の気候に恵まれたこの地域は酒造に最適。江戸時代（1603-1868）の間、当時川上と呼ばれていたこの地方は重要な酒どころとされていました。最盛期には、川上には 33 を超える酒蔵がありましたが、今日、初桜酒造はこの伝統を伝える最後の酒蔵です。

また、初桜酒造は、高野山と歴史的な繋がりを持っています。高野山で修業をする僧は、飲酒を禁じられていました。それでも人間ですから僧たちだってお酒を飲みたくなりますから、例外として、山中の寒い夜に身体を温めるため、少量の「般若湯」（知識の水）を飲むことは許されています。

初桜酒造を訪れると、陶器の徳利で売られているこの地域文化の産物を試飲することができます。川上の伝統を継承する蔵人たちが職人技の酒を造る酒蔵を少しでも見てまわることもできます。